



社協シンボルマーク

ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第65号



『海とビーチの 新たな楽しみ方』

志布志市が持つ美しい海とビーチ。これらを活かした新たな楽しみ方が盛んに行われています。

☆ビーチヨガ

大海原を目の前に、大自然へ溶け込みながらヨガを楽しみます♪

☆ボディボード

子どもや初心者でもチャレンジできます。志布志にはプロのボディボーダーもいます。

☆スタンドアップパドル

大型のサーフボードの上に乗リパドルで漕ぎながら海原を散歩します。最近流行ってきています。

☆ランディーズ(砂上用車椅子)

これを使えばビーチもバリアフリー♪

時代とともに進化するビーチアクティビティ。

志布志市の海やビーチを楽しむことで、素晴らしい自然財産を見つめ直すきっかけになってほしいです。

取材／
市民編集員 迫田 秀人



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。

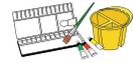
第11回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表

(敬称略)

豊かな心を育み、福祉育成を目的とした「福祉作文・絵画コンクール」を小・中学生を対象に実施しました。

福祉作文

小学生低学年の部 (1～3年)



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	香月小	1	高橋 伝太郎	はたけれすとらん
優秀賞 (2名)	通山小	1	馬場 惺士朗	おばあちゃんのはまほうのて
	通山小	2	竹井 野乃花	見ていてね、ツルばあちゃん
佳作 (3名)	香月小	3	村留 瑠奈	ひいおばあちゃんとせんそう
	松山小	2	西村 紅俐	わたしのボランティア体けん
	潤ヶ野小	1	新地 愛奈	がんばれおとうさん

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	有明小	2	黒 拓真	おばあちゃんとぼく
優秀賞 (2名)	伊崎田小	2	野口 真優	おじいちゃんおばあちゃんのスイカはおいしい
	潤ヶ野小	2	天久 来香	おばあちゃんとやさいのしゅうかくだ
佳作 (3名)	通山小	2	竹井 野乃花	ばあちゃんとやさいをそでてたよ
	森山小	2	鎌田 健汰	おばあちゃんとグランドゴルフ
	安楽小	3	吉田 妃麻里	妹のミルク

福祉作文

小学生高学年の部 (4～6年)



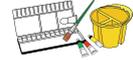
福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	香月小	4	中江 悠真	骨折で学んだこと
優秀賞 (2名)	有明小	6	平野 琉青	みんなの思いが
	蓬原小	4	前田 賢聖	いつまでも見たいから
佳作 (3名)	香月小	5	鬼塚 若葉	千分の一の宝物
	原田小	4	稲森 愛花	おじいちゃん、いつも笑顔でいてね
	山重小	6	上村 圭	思いやりの輪

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	野神小	6	鈴木 海渡	祖父とこまあそび楽しいな
優秀賞 (2名)	有明小	6	稲付 海翔	じいちゃんのお顔
	安楽小	4	福元 みゆ	おばあちゃんと楽しく後かたづけ
佳作 (3名)	有明小	5	村永 恋依花	おばあちゃんとひまわりのえがお
	泰野小	5	上村 綾	おばあちゃんのかたたたき
	安楽小	4	加藤 琉聖	ぼくの弟

福祉作文

中学生の部



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	有明中	3	田中 肖恵	思いやる心
優秀賞 (2名)	有明中	3	小松 明日香	介護の大変さ、必要性
	松山中	3	福元 稜	ボランティア活動での変化
佳作 (3名)	志布志中	3	井手 千優	「思いやりの心」とは
	志布志中	3	横山 空	サマーボランティア
	松山中	2	加世田 凜花	元気ハツラツな祖母たち

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	宇都中	2	土橋 楓央	老人ホームでおばあちゃんとハイタッチ
優秀賞 (1名)	松山中	2	吉井 登馨	心から応援したい。
佳作 (2名)	松山中	3	松元 裕世	ぼくの元気なおじいちゃん
	宇都中	1	井戸 美沙紀	家族の輪と笑顔

福祉作文

学校賞



福祉絵画

区分	学校名
小学校	香月小学校
中学校	有明中学校

区分	学校名
小学校	泰野小学校
中学校	松山中学校



第11回志布志市 福祉作文コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞
小学生低学年の部



志布志市立香月小学校 1年
高橋 伝太郎さん



「はたけれすとらん」

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、たばことさつまいもと、おこめをつくっています。うしもかっています。じいちゃんちにあそびにいくと、じいちゃんが「でんたろう、はたけにいくよ。」というので、ぼくはうれしくなって、「やったー。」とおおきなこえでさげびます。

じいちゃんはおおきなとらくたーをたくさんもつていて、いつものせてくれます。「じいちゃん、すごいね。」

とぼくがいうと、「でんたろうに、一だいやろうか。」

「いつもじょうだんをいいます。」

とらくたーのうんでんせきは、とてもたかいので、すこしこわいけど、じいちゃんがひざにのせてくれるので、だいじょうぶです。

「なんでこんなにたかいの。」

とじいちゃんにきくと、「はたけのすみっこまで、みえるようにだよ。」

とおしえてくれました。うんでんせきからは、はたけではたらくばあちゃんとおおきにやまがみえます。とてもきれいです。

はたけでは、さつまいのなえをぼくがおいて、じいちゃんとおばあちゃんがなえをぼうでさしてうえていきます。おかあさんやいとこたちもみんなであつまっています。おなががすいたころにばあちゃんが、「ごはんにするよー。」

「いってきます。」

といてみんなでごはんをたべます。

「はたけでたべるとおいしいね。」

とぼくがいうと、「じいちゃんがつくったこめがおいしいからだよ。」

とじいちゃんがいました。

「ばあちゃんがぎったこめだからおいしいんだよ。」

とおかあさんがいいました。

「ばあちゃんがぎって、みんなであべるから、おいしいのよ。」

とばあちゃんがいつて、みんなでおおわりました。はたけでたべるとは、いとおいしくて、たのしいです。ぼくは、はたけにいくのがいつもたのしみです。

はたけのしごととはとてもたいへんそうです。あさはやくから、よるおそくまでじいちゃんとおばあちゃんは、はたけのおもひもあつて、「みんながてつだいにきてくれてうれしい。」

というので、これからも、おとうさん、おかあさんやいとこたちとみんなではたけにいきたいとおもいます。

最優秀賞
小学生高学年の部



志布志市立香月小学校 4年
中江 悠真さん



「骨折で学んだこと」

「先生は歩くときにつえを使っています。不便だけど不幸ではありません。」

全校朝会で、木下先生はつえを使うようになったときのことや、毎日の生活の中で感じていることを教えてくださいました。ぼくは、「思うように動けずにかわいそうだな。」と思っていた。でも先生は、「自分のことをかわいそうだと思つたことはありません。」

とおっしゃった。そのお話を聞いて、ぼくは夏休み直前のサッカーの試合で骨折したときのことを思い出した。

相手の選手がドリブルで近づいてくる。後半のこり三分。ここで絶対に点をとられてはいけない。ぼくはシュートを打たれないように必死だった。ガツン。ぼくはゴール前で相手とぶつかり転んでしまった。一しゅんのことで、どんなふうか転んだのか覚えていない。あまりのいたさに起き上がることができない。

「悠真、だいじょうぶか。」

みんなの声が聞こえるけど、返事をすることもできなかった。

そのまま近くの病院に行くことになった。歩くだけでもひびいたので、友達のお父さんにかかえてもらおう」と、とても不安だった。レントゲンをとった結果、先生から「折れているね。」

と言われた。その言葉を聞いたしゅん間、なみだが出た。大好きなサッカーがでなくなることがかたがたからだ。し合会場にもどると、みんなが待っていた。

「悠真のおかげで勝てたよ。何かこまつたことがあったら言えよ。」

最優秀賞 中学生の部



志布志市立
有明中学校 3年
たなか こずえ
田中 肖恵さん

「思いやる心」

「今から食堂に向かいま

す。」
この言葉を発したとき、とても緊張していた。なぜなら、今から私はおばあちゃんに乗った車椅子を押し始めるからだ。

この数分前、私たちは担当の方から説明を受けていた。特に、車椅子を押すときの声かけや手足の位置についてだ。説明を聞いて、声かけと手足の位置に注意すればよいのだと、私は軽い気持ちでいた。だが、実際に車椅子を押してみると、全然違った。大きな声で声かけられない。しかも、手足の位置ばかりを気

にしてしまう。そのため、周囲を見渡す余裕もなくなる。職員の方とぶつかりそうになってしまった。とても怖かった。しかし、職員の方は優しく

「ゆっくりでいいですよ。」
と言ってくれました。遅くて迷惑なのではないかと心配だったが、その一言で気が楽になった。ゆっくりでいいのだ。心の中でつぶやいた。すると、あせりがなくなってきた。それから自分のペースでできた。心に余裕もでき、声かけも次第に大きくなっていった。

次に、おばあちゃんたちとお話をした。最初はどんな話をすればいいのか、分からなかった。会話が全然成立しない。初対面の方とお話するのが、こんなにも難しいとは思っていなかった。私は人とコミュニケーションをとるのが苦手だ。今回、自分のコミュニケーション能力の低さを改めて痛感した。

それを見ていた職員の方

「この人はこんなことが好きだから質問してみるといいよ。きつと答えてくれるよ。」

りも大切だと。
介護を受ける方は、体の不自由な方、耳の聞こえづらい方、食事の介助の必要な方などさまざま。だから、一人一人のことをしっかり見て、その人の思いを知ることが大事だ。介護の仕事は知識や経験だけでなく、忍耐も必要で、肉体的にも精神的にも大変な仕事だ。しかし、人の役に立つやりがいのある仕事である。

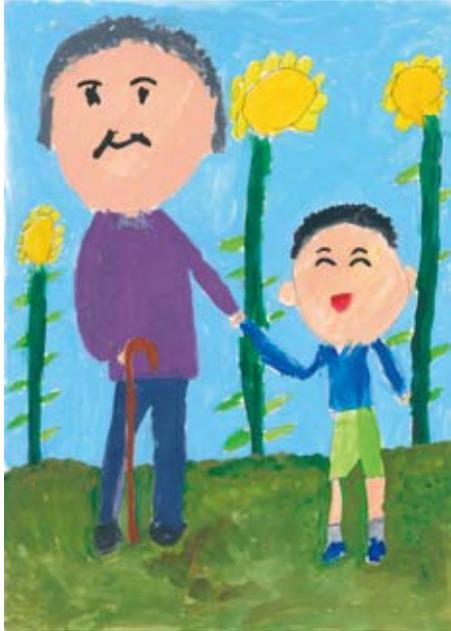
将来、私は介護の仕事に就きたいと思っている。今回、学んだ人を思いやる心を大切に、介護の仕事を目指して頑張っていきたいと思った。



※作品はすべて原文のまま掲載しております。

第11回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞 小学生低学年の部



「おばあちゃんとぼく」

志布志市立 有明小学校 2年 黒 たくま 拓真 さん

最優秀賞 小学生高学年の部



「祖父とこまあそび楽しいな」

志布志市立 野神小学校 6年 すずき かいと 鈴木 海渡 さん

最優秀賞 中学生の部



「老人ホームでおばあちゃんとハイタッチ」

志布志市立 宇都中学校 2年 つちはし ふうか 土橋 楓央 さん

街頭募金を行いました!!

※ご協力いただいた店舗及び実施額は、次号掲載します。

赤い羽根共同募金





**ご協力
ありがとうございました！**





チャリティーグラウンド・ゴルフ大会 開催！

10月22日（土）、志布志運動公園にて開催されました。
 当日は、あいにくの天気の中スタート。グラウンド状態も良いものではありませんでしたが、皆さん元気にプレーされていました。
 また、志布志市グラウンドゴルフ協会より、今回の大会の参加費の一部を共同募金へ募金してくださいました。
 戸別募金へのご協力と共に、グラウンド・ゴルフ大会のように、各種イベント募金等を開催していきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



社協からは、大人も子どもも楽しめるバルーンアートコーナーとおもちやの魚釣り体験、松竹会（松山町ボランティア団体）より5名バザー品販売を行いました。どちらも多くのお客さんにぎわいました。皆様のご参加・ご協力ありがとうございました。



11月13日（日）、やっちく松山藩秋の陣まつりにボランティアのみなさんと参加

やっちく松山藩秋の陣まつりに参加



◎この紙面に関するお問い合わせはこちらまで!!

・志布志市社会福祉協議会 志布志本所 ☎ 099-472-1800
 松山支所 ☎ 099-487-2001
 有明支所 ☎ 099-474-0310



伊崎田サロン



原田サロン



山重サロン



押切東サロン



有明サロン



供養松サロン



野神サロン



通山サロン

よつぎサロンへ!
 今月号は有明町内13箇所の
 サロンをご紹介します♪



川西いきいきサロン



上床サロン



蓬原サロン



きばいもんそ会



さわやかサロン

サロンに行ってみたい、自分の地域でもやってみたいなど、サロンに興味のある方はご連絡ください!

☎099-474-0310

担当: 安楽

毎月1回のサロンを楽しみに、みなさん、笑顔いっぱい過ごしています(笑)

9月13日(火)、志布志市ボランティアのつどいが志布志市文化会館で開催されました。団体・個人のボランティアさんが参加され、事例発表では有明町より有明町母子父子寡婦福祉協議会(千代留愛子代表)、松山町よりきらきら会(松原千恵子代表)、志布志町よりモノコウカンプロジェクト(田中慶悟代表)の3名の方が発表されました。他の団体の活動がわかり、とても参考になったとの声がありました。

次に、笑いヨガを、笑いヨガ志布志の風リーダーの奥山繁氏より、教えて頂きました。皆さんそれぞれに、笑いが溢れ、笑いの大きな渦となり、とても楽しい交流ができました。



笑いヨガの様子

まはまはボランティアのつどい



小麦粉・砂糖など混ぜているところ

9月8日(木)、松山町ボランティア団体の尾野見グループ(津曲美奈子代表)が松山農産加工センターにて、75歳以上の高齢者と障がい者の方々245名にふくれ菓子を作り、見守り活動も兼ねてお届けしました。心のこもったふくれ菓子里に、皆さんとても喜ばれました。

尾野見グループ
 ボランティア活動
 ふわふわの
 ふくれ菓子が
 できました!!



輪多市のボランティア

輪多市とは

「多くのボランティアの輪を志布志市に広めよう」の意味です。



あなたもこのサービズによりいろいろな情報を知って、生活に楽しみを持ちながら市政参加をしてみませんか。

毎月発行される市報を朗読ボランティアの方によりカセットテープやCDに録音して、希望される方に無料でお届けし、回収もボランティアで行います。「朗読を聞かれる方」は志布志市内にお住まいで視覚障がいのある方や高齢者等です。

9月27日(火)、朗読ボランティアの「朗読される方」と「朗読を聞かれる方」との交流会がありました。

朗読ボランティアの交流会



ボランティアポイント
olunteer point
ポイント

ボランティアポイント達成おめでとう♪



木戸校長先生からボランティア活動認定証の授与がありました。

また40ポイントを目指して頑張りたいと思います。

- どんなボランティア活動をしましたか？
- ・サロンへの参加
- ・特別養護老人ホームへの訪問
- ・地域の行事への参加
- ・ペットボトル収集
- ボランティア活動をしてみte感じたこと
- ・今回は高齢者訪問だけでなく、地域の行事にも参加をしたり、ペットボトルを集めたりしました。



尾野見小学校 6年
とくなが ふうか
徳永 楓花さん

30ポイント達成
松山第1号

小・中高生がボランティア活動や地域活動を行った時に、「ふれあいボランティア活動カード」に押印をもらい、ポイントを貯めていく活動です。



伊崎田小学校 2年
のぐち まゆ
野口 真優さん

また40ポイントを目指して頑張りたいと思います。

- どんなボランティア活動をしましたか？
- ・サタデー広場
- ・おじやつたもんせ (地区の清掃作業)
- ボランティア活動をしてみte感じたこと
- ・地区の清掃作業を家族で参加して、いろいろな話をした事が楽しかったです。どうしてこんなゴミがあるのかおどろく事もあったけれど、きれいな道を見てもうれいでした。
- ・サタデー広場で、なかなかできない体験を、いろいろな人とできて、たのしいでした。これからもいっぱい参加したいです。

10ポイント達成
有明第16号

ね。きそうです。する時に思いやりのある行動がです。今後車いす介助をする時に思いやりのある行動がです。



10月25日(火)、有明中学校の各学級の保健部員12名を対象に車いす体験学習を行いました。「実際に乗ってみると景色や感覚が全然違う。」「車いすの使い方や、乗っている人の気持ちに分かった。」という感想もありました。今後車いす介助をする時に思いやりのある行動がです。

有明中学校福祉体験

た。自然と見られまし



9月8日(木)、安楽小学校の4年生を対象に車いす体験学習を行いました。「実際に乗ってみて怖かった」という感想もありましたが、坂道や段差では乗る人に優しく声をかけたり、車いす介助をするときも慎重にした重なり、相手を思いやる行動が自然と見られまし

安楽小学校福祉体験

福祉体験を行いました

志布志市金婚式



9月28日（水）、志布志市金婚式が国民宿舎ボルベリアダグリにて開催されました。本年は、52組のご夫婦が金婚を迎えられ、38組76名の方々にご出席をいただきました。



華麗な舞を祝儀の舞として藤寿会（藤間太郁妙事二見孝子氏）、アトラクションでは、伊崎田保育園の園児による、てんとう虫のサンバ・君といつまでも・冬のリヴィエラ・コスモスの曲をピアノ力演奏や体操（ストレッチ・逆立ち歩き）があり、とても喜ばれました。

出席された皆様は、結婚50年の歴史を振り返りながら、思い思いに楽しんでいる様子でした。誠にありがとうございます。



しづし福祉事業所紹介 ～高齢者・障がい者関連施設～ No.8

高齢や障がいなどで介護が必要な方が安心して豊かな生活が送れるよう、市内には33の法人事業所等があります。地域の皆様に身近に知っていただけるよう、毎号2法人を紹介しています。

「一人一人が明るく温かく心を込めてケアします」

介護老人保健施設 つわぶき

当施設は、利用者様が通所リハビリ・入所・短期入所（ショートステイ）の施設利用を通して可能な限り自宅での生活が継続できる、あるいは在宅での生活に復帰するという事を目指したりハビリテーション施設です。リハビリテーションにおいては、理学療法等のリハビリ職員はもとより看護・介護の職員も日常生活のあらゆる場面を通じて心身の状態維持・向上を目指した支援を心掛けています。また、鍼灸等も取り入れ利用者様に喜んでいただいています。



常に利用者の皆様が、安心・安全にリラクセスして生活して頂けるよう、職員一人ひとりが心を込めて明るく温かくお世話させていただきます。いつでもお気軽にお問い合わせてください。

「地域とともに」

医療法人さくら 志布志中央クリニック 居宅介護支援事業所

事業所は、クリニックの中にあります。介護保険に関すること、介護保険についての相談、介護認定申請、サービス計画などが事業内容です。自宅での生活を続ける事が、病気等により不安な時など、介護に関する事など、何でも気軽にご相談ください。

「利用者様と一緒に」

志布志中央クリニック

当デイケアは、皆様が元気で在宅生活を維持、継続出来るようお手伝いさせていただきます。足腰が痛い、歩くのが大変など思っている方、私達と一緒に楽しくリハビリや運動をし、お友達と話をしたり、又季節の行事や、お誕生会、子どもたちによる慰問などもあり、お楽しみ頂ける事が色々あります。

デイケアにおけるご相談や、見学なども随時できますので気軽にご連絡ください。スタッフ一同お待ちしております。





『泰野小6年生親子の奴踊り』



私の母校である泰野小学校の運動会へ消防団員として参加してきました。

田舎では当たり前のように共同開催される小学校と地域の運動

会。子どもからお年寄りまでが運動場を囲み交流できるこのスタイルがとても好きです。

小学校での運動会が最後となる6年生。思い出作りのために、親と子での種目が行われるのも伝統です。今年の6年生親子は「踊り」でした。

この踊り、奇をてらったものでもなければ、プロの様に卓越したものでもないのに何故か心惹かれました。その不思議な感覚は、後の取材で合点がいくこととなります。

運動会から遡ること数ヶ月、2名の6年生が住む内之野集落は、この2名が卒業すると同時に子どもがいなくなります。担任の石堂先生とPTA会長の永沼さんは、この状況を踏まえ、「何かやれることはないか」「何かやるべきことはないか」と考え、内之野集落に古くから伝わ

る「奴踊り」を親子全員で踊ることを思いつきました。奴踊り保存会の方々（代表：和田誠さん）の情熱と、6年生親子のやる気が相まって稽古は次第に熱をおび、本番が近づくと週三回に増えました。

えてして、振り付けを先におぼえるのは子ども達。親達は悪戦苦闘：ここに親子の立場逆転が生まれます。これがかえって良い方向へ働きました。親は必死に努力します。その姿を見て子はまた必死にサポートします。

そして、迎えた本番。親たちは真剣な表情で踊ります。子ども達は「父ちゃん母ちゃん、その調子で最後まで踊りきって！」と温かい眼差しで見守りながらリードします。

その親子の心と心の関わり合いがバシバシと伝わり、私のみならず観衆の心を打つたのです。

教訓と感動をもらった泰野小6年生の奴踊りでした。



東洋埠頭株式会社様が新米を寄贈されました!



市内の福祉の為に、自社で作付した新米をいただきました。

車いす2台ご寄附いただきました。



グラウンドゴルフボランティアの会（会長 北村貞志さん）より、地域福祉や福祉教育等に活用してほしいとの趣旨により、車いす2台をご寄附いただきました。

この車いすは練習や試合時のホールインワン募金と会員の皆さんが練習時に持ち寄ったアルミ缶を金属買い取り業者へ販売した益金で購入されたものです。

いただいた車いすは、ご趣旨に沿って有意義に活用させていただきます。



ともだち!

モトム。アナタのつながり。ミンナの輪。



谷口弘樹 支江

～ お店が開店に2周年～

たくさんのお客様に愛を込めて
ように がんばって下さい!

POP hairをよろしく
お願い致します(´▽`)/

（左）関一

皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会に寄附をいただきました。
ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。
(平成28年9月1日から平成28年10月31日まで)

志布志地区

- 自治会名 寄附者名 物故者名 (敬称略)
- 上東谷 千崎 実 故節美
 - 香月 谷口江知子 故芳郎
 - 安良 鶴尾綾子 故明憲
 - 天神 丸山リウ子 故福市
 - 天恩 中城克弘 故才次
 - 大越 恒吉頼藏 故カツネ
 - 上道重 竹山善和 故兼則
 - 平城 井手虎行 故サチエ
 - 下宮内 鞍掛節男 故友子
 - 上田屋敷 福元初夫 故國夫
 - 新上目 又木正秀 故シツ
 - 馬庭 野邊エミ子 故義美
 - 清水中央 牧之田ハニエ 故富士雄
 - 福島渡 永野テル子 故祐彦
 - 松原 野迫サチ子 故一成
 - 上門 山角正治 故洋子
 - 西横尾下 岩田ヒサ子 故亀之
 - 上昭和三 小玉英樹 故和子
 - 香月 三坂基文 故妙子
 - 長沖廣文 故ミヤ
 - 倉ヶ崎 倉富オエイ 故義哉
 - 草野 草清久志 故龍雄

有明地区

- 倉ヶ崎 倉富オエイ 故義哉
- 草野 草清久志 故龍雄

松山地区

- 川路之区 西村和美 故ミエ
内之野 山口カツ 故敏
- 伊崎田鶴 竹川良一 故國良
押切東 山崎雅代 故八久保壹
立本 福留瑠美子 故立山キクエ
宇都鼻 徳永小夜子 故重雄
久木迫 村久木三夫 故タミ
茗ヶ谷 石原晶子 故千里
有明町 野口ミギ 故邦夫
下野井倉 牧原 隆 故フミ
通山 榊 勇 故フミ

東日本大震災義援金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。地域福祉向上のため、有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

(9月1日～10月31日受付分) (敬称略)

松山地区受付

匿名

(平成23年3月14日) 平成28年10月31日受付分
これまでの合計金額
11,451,825円

熊本地震災害義援金

(9月1日～10月31日受付分)

志布志地区受付

・志布志市ボランティア連絡協議会
・市役所志布志支所義援金箱

有明地区受付

・市役所本庁義援金箱

松山地区受付

・市役所松山支所義援金箱
・匿名

(平成28年4月15日) 平成28年10月31日受付分
これまでの合計金額
4,160,385円



『福祉川柳・短歌・俳句』募集いたします。

志布志市社会福祉協議会では、幅広い年齢層に広く福祉に興味を持っていただきたく『福祉川柳・短歌・俳句』を募集いたします。つきましては、左記の募集要項にてご応募ください。また、投稿数に応じて掲載させていただきます。

○応募方法

・氏名又はペンネーム、町名を記入
・一人2作品まで
・ハガキ、郵送、FAX

○応募締切

平成28年12月20日(火)まで
※季語を含む場合は12、1月前後

○掲載について

平成29年1月26日発行
【たけなえあい】第66号に掲載予定

人住まぬ
庭は賑やか

柿の実が
志布志町 M

え々に
遷層祝いに
里帰えり
父母の姿に
微笑の涙

有明町 牛原 ヒサ子

去る息に
あれもこれも
言いたさに
母の心
意図も知らざり

有明町 山元 ハツミ

ダイヤ婚
初みになって

増才 純孝
有明町 土橋

遣り縁りの
妻に感謝の
年の暮れ

志布志町 鞍掛 五雄

敬老の
祝日のまは
吾なりと
安来節舞い
笑いの渦に

有明町 野口 嵐

秋桜の
名所となりし
田の里
めざすは介護
日本一のまち

有明町 福岡 國博

心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

志布志	12/7	12/21	1/11	1/25
松山	12/6	12/20	1/10	1/24
有明	12/5	12/20	1/5	1/20

※日程は都合により変更になる場合があります。右記までお気軽にお問い合わせください。

12月・1月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越しください。なお、相談料はいただきません。

志布志地区 472-1800
(健康ふれあいプラザ内)
松山地区 487-2001
(老人福祉センター内)
有明地区 474-0310
(市民センター内)

相談時間 / 10:00～15:00